

## 校訓 「高く 大きく 美しく」

### 教育目標

「誇り高く 夢大きく こころ美しく  
よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校

学校通信

NO.9

2021.8.27 発行

TEL 0880-34-4137: 文責 山崎利彦

### 校区の小学校より一足先に2学期がスタート！

中学校の2学期始業式は8月26日(木)！校区の小学校が通常通り9月1日に始まるのに比べ、6日早く中学校は2学期がスタートしました。高知の中央部は、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、始業式を9月1日に延期する措置もとられますが、幡多管内の感染は少ない状況で推移し、それぞれの立場で一人一人が感染防止に配慮していることがわかります。学校の対応は、各保健所管内の状況に応じて違ってきます。以前のように一斉休校という措置はありません。**新型コロナウイルスを正しく恐れながら、今学期も生徒の成長を願い、教育活動に従事したい**と思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



さて、この夏休み生徒の皆さんはどのように過ごしましたか？夏休みに入って、7月は県総体や学期末面談、補習が続きました。コロナ対応が求められた中での県総体は、原則無観客でしたが、各競技で生徒が精一杯のプレーをしたと報告を受けました。その中で、四国大会や全国大会出場を決めた生徒もいて、本当にうれしく感じました。また、県の吹奏楽コンクールも2年ぶりに開催され、本校の音楽部も集中した演奏を披露しました。休み中も何かの目標を持って努力した生徒がたくさんいると思います。**結果そのものよりも、“努力をするというプロセスに価値がある”**と信じてください。その価値を大事にできる学校でありたいと思います。



そういう活動が再開された一方で、この夏は**新型コロナウイルス感染防止への配慮がこれまで以上に求められた夏**だったように思います。この幡多路は、8月に入って初旬から降り出した雨が連日のように降り続き、夏の太陽が顔を見せることは本当に数少なかったです。また、全国規模では連日のように新型コロナ感染者の増加が報道され、この高知もその波にのまれました。8月12日から始まった中学校野球選手権大会は、雨天順延の連続で、コロナ感染の拡大も相まって、ついに大会史上初めて中止となってしまいました。試合が一試合できた本校は、まだ幸せな学校だったのかもしれませんが、3年生にとって最後の大会となるこの大会は、生徒も特別な思いを持って臨みますので、中止はさぞかし残念だったと思います。そして、現在、8月末や9月初旬の各種目の秋季大会が中止、または延期となる連絡が入っています。本当に、早く終息への見通しが持てる社会になることを願って止みません。

このような中、2学期がスタートしました。様々な状況が生じる可能性がある中で学校が大切にすべきは、やはり“学校としての役割をきちんと果たすこと”だと思います。当たり前的事かも知れませんが、**2学期、特に大切にしたいこと**を改めて紹介します。一緒に生徒を育むことができるようご協力ください。

#### 1 生徒の安心・安全を第一に考えた学校であること

“安心・安全”は、学校に限らず家庭や社会(集団)の基盤ですね。この基盤があるからこそ、それぞれの生徒は勉強や部活に頑張ることができ、**お互いが励まし合える関係の中で力を高めていける**のです。今学期もそのような環境の中で生徒を学ばせることができるよう、全力で取り組みたいと思います。生徒の皆さん、仲間を大切に、温かい言葉で関係を築きましょう。もし心配なことがあれば、いつでも学校に相談してください。



#### 2 学校は勉強するところの意識を高めること ~学びの価値を共有する~

学校に何のために行くのかを考えたことはありませんか？答えは人それぞれだと

と思いますが、自宅で一人で勉強するのではなく、学校だからこそできる学びが学校としての生命線です。単に知識や情報を覚える学習では、googleの検索機能に人間は勝てません。もっと深く広い学びをしたいと私たちは考えています。“**資質・能力**”という言葉が最近特に強調されますが、“**生きて働く力**”としての“**資質・能力**”を本校の生徒に育みたいと考えています。そのためには、どんな授業が必要なのか…教員だけが理解しているのではなく、生徒にも伝え、理解させ、実践させていきたいと思います。その中で一人一人の学力を保障し、進路指導に結びつけたいと思います。生徒の皆さん、一緒に学習を充実させましょう。

### 3 学校行事を通して生徒を成長させること

2学期は、体育的行事や文化的行事が多い学期です。また、部活動も3年生から2年生へバトンが渡される学期です。生徒の出番が多い各行事の取組を通して、生徒の思い出をつくることはもとより、**主体的に活動できる力や協働する力、時には対立を上手に克服できる力**を生徒に高めてもらいたいと思います。コロナ禍で見直しや再検討が迫られる学校行事もあると思いますが、このような中だからこそ、自分たちの行動を考えさせる機会としてとらえ、生徒の意識を高めたいと思います。

## 校舎トイレの洋式化工事終了！ ～約半数のトイレを改修～

夏休み中、校舎各階のトイレの改修工事がありました。各階で和式トイレを洋式トイレに代える改修工事が行われ、約半分が洋式トイレになりました。工事中は生徒に不便をかけた点もありましたが、2学期以降の学校生活を考えると、快適なトイレになりました。

中村中は市から避難場所としても位置づけられており、万一の場合は、高齢者が使いやすい施設でなくてはなりません。また、家庭生活の変化からも、和式トイレを利用できにくい子どもの割合が高くなりつつあります。学校に来られた際には、少しのぞいてみてください。

一部のトイレはウォシュレットトイレで、このトイレを見ると、30数年前インドを旅したときに、ホテルで「トイレに紙しか置いてない!!」と怒っていたインド人を思い出します。紙で処理するのは汚くて、水で処理するのが清潔との文化がインドにありました。どう処理するか聞きたい人は校長(山崎)まで…。お教えします。(笑)

